

学年始めと学年終わりの記入例（小学校4年生）と教員による声掛けの例

記述を基に「どうしてそう思ったのかな」と問いかけることで、具体的な職業を挙げた理由も考えられるようにしましょう。

4年生のわたし①	名前 たき町 花子
好きなもの・こと バスケット、ねこ、もも	
なりたい自分（将来の夢や目標） お花屋さん (みんなをえがおにしたいから) そのためにがんばりたいこと きめたことを毎日続ける (花の水やり)	
自分のよいところ・得意なこと だれにでもあいさつができること 糸をかくこと	
みんなのためにがんばりたいこと こまっている人がいたら、声をかける みんなにやさしくする	
自分の地域の好きなどころ 夏に花火大会があるところ	先生から 自分も、きめたことを毎日続ける、 こまっている人に声をかけたりすることが、 しょうらいのやめにつなげますね

4年生のわたし②	名前 たき町 花子
〇どんな4年生だったか、ふり返りましょう。	
①友達と協力して勉強し、	
②自分の意見をはっきりと、	
③自分のやるべきことを、	
④苦手なことにも、がんばり、	
⑤計画的に勉強に取り組む	
この1年間で、自分にはどんな力がついたと思うか書きましょう。 あきらめずに最後までやる力 (バスケットの試合の時、最後まで走ってがんばったから)	
この1年間で見つけた、自分のもち味（自分らしさ）について書きましょう。 たてわり班活動で、低学年にやさしくできたので、 今までよりいろいろな人のことを考えて行動できるようになった。	
この1年間で見つけた、地域のよいところを書きましょう。 防犯はんパトロールをしているところ。 (糸巻合のじゅぎょうで安全マップをつくったときに、思っていたよりも防犯はんパトロールをしている人が多くて安全だと思った)	
先生から 自分や地域をより愛する心が広がりましたね。 おはなはら、これからもたくさん人を えがおにすることができそうですね。	地域の方やお家の方から 毎朝元気にあいさつをして登校する姿 を見ることができてうれしかったです。ありがとうございます。 応援しています。見守り隊の〇〇さん

「書くことがない」と言って困っている子もいるでしょう。そうした子には、これまでの様子を振り返って価値付け、あきらめずに肯定的な声掛けをするようにしましょう。

これまでの記録を読み返して気付いたことを付け加えて更新するのも効果的です。